

# 第8回 鋼構造技術継承講演会

～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～



行事コード：252006 略称：8回鋼構造技術継承

先人の多大な努力により建設・管理がなされてきた多くの鋼構造物は、社会基盤を構成する重要な構造物として、今後もその役割を担い続けていくと考えられます。また、安全・安心な社会を上げるための国土強靱化、構造物の高齢化に対応する長寿命化やライフサイクルコストの低減、歴史的な構造物の保全など、近年の鋼構造物に対する要求は多様化、高度化してきています。今後、このような多様な性能が求められる鋼構造物を建設・維持管理していくためには、先人が培ってきた鋼構造物の歴史や計画、設計、施工、維持管理などの研究・技術への理解を深め、それらを活かして鋼構造の技術の発展につなげていくことが重要であると考えます。

本講演会では、毎回、大先輩の技術者、研究者の方々に、研究面および技術面における豊富な経験を、現役および次世代を担う技術者、研究者の方々に技術伝承するためのご講演をさせていただいております。

第8回となる今年度は、日本鋼管(株)(現 JFE エンジニアリング(株))ならびに日本大学にて鋼構造物の設計、歴史的鋼構造物の保全や土木史に関する研究、技術者の教育などに長年携わられてこられた五十畑弘氏(道路文化研究所特別顧問、元日本大学教授)に「歴史的鋼橋保全の課題など」と題するご講演を、東京都や(一財)首都高速道路技術センターなどで道路橋の維持管理に関する諸問題に長年携わられてこられた高木千太郎氏((一財)首都高速道路技術センター上席研究員)に「鋼道路橋のメンテナンスへの提言」と題するご講演をそれぞれいただく予定です。

両氏のご講演は、現在の鋼構造物が直面している課題の解決に大きく役立つことでしょう。参加費は無料です。奮ってご参加下さい。

- ・主 催

土木学会 (担当：鋼構造委員会)

- ・日 時

2020年12月8日(火曜日) 14:00～17:00

- ・開催形式

オンライン(土木学会講堂より Zoom ウェビナー配信予定)

- ・参加費

無料

- ・申込締切日

2020年11月30日(月) (申込先着順で300名まで)

- ・参加申込

参加をご希望される方は、以下のサイトからお申込みください。締切日以降の受付は致しません。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

視聴用の URL 等は、ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前までにメールにて連絡予定です。

申込後、キャンセルをされる場合は必ず参加申し込み終了前までに事務局宛にご連絡ください。ご不

明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先>

土木学会事務局研究事業課 桃井

メール：[momoi\\_“at”\\_jsce.or.jp](mailto:momoi_at_jsce.or.jp) “at”を@に変更してメールして下さい

・ 詳細（プログラム）

14:00~14:05 鋼構造委員会委員長挨拶

14:05~15:25 五十畑弘氏：「(仮)歴史的鋼橋保全の課題など ～過去 30 年のかかわりを通じて～」

15:25~15:35 休憩

15:35~16:55 高木千太郎氏：「(仮) 道路橋のメンテナンスへの提言」

16:55~17:00 鋼構造委員会副委員長挨拶

\*本講演会は CPD 認定プログラムです（申請中）